

船舶事故調査報告書

平成23年1月20日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	同乗者死亡
発生日時	平成21年11月14日（土） 13時00分ごろ
発生場所	静岡県沼津市伊豆大瀬崎灯台から真方位207° 1.5海里付近 （概位 北緯35° 00.5′ 東経138° 46.5′）
事故調査の経過	平成21年11月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ ^{ル、バン} LE' VENT4、0.1トン 241-19707静岡、株式会社KOWA（以下、「A社」という。） 2.71m×1.07m×0.43m、FRP ガソリン機関、75kW、平成21年4月
乗組員等に関する情報	船長 男性 33歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成21年10月29日 免許証交付日 平成21年10月29日 （平成26年10月28日まで有効） 同乗者 男性 36歳
死傷者等	死亡 1人（同乗者）
損傷	右舷船底部及び中央部亀裂
事故の経過	本船は、船長がA社よりレンタルし、同乗者1人を乗せ、沼津市大瀬崎南南西方沖付近を船尾方からの追い波を受けながら、波を飛び越えない程度の速力で北進中、平成21年11月14日13時00分ごろ、波を乗り越えて速度を落としたところ、船体が急に右転して左舷側に傾き、船長と同乗者が落水した。 船長は、落水後、慌てている同乗者を落ち着かせ、その場で待っているよう伝えたのち、北方へ流されていた本船に向かって泳いだ。 船長は、14時00分ごろ、落水した場所から約800m北北東方の岸に打ち寄せられた本船を回収し、すぐに落水した場所付近に戻って同乗者を探したが発見できず、14時10分ごろ、本船に置いていた携帯電話で海上保安庁に通報した。 同乗者は、翌15日14時23分ごろ、沼津市静浦港馬込1号防波堤灯台付近で発見されたが、死亡が確認された。死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、気温 約20℃、視界 良好 海象：うねりの方向 南、うねりの波高 約1～3m、水温 約20℃ 本事故発生当時、東海海域東部には海上強風警報が発表されていた。

<p>その他の事項</p>	<p>船長は、本事故発生当日の朝にA社を訪れた際、風雨により水上オートバイのレンタルを断られたが、晴れてきたことから、午後から本船をレンタルした。</p> <p>船長は、海技免許を取得するために行った実技講習以外で水上オートバイを操船するのは、今回が初めてだった。</p> <p>船長は、本船を回収するため、救命胴衣を着用したまま、海上がうねる中、約1時間泳ぎ続けた。</p> <p>船長は、本船に向かって泳ぎ始めて約5分くらいは同乗者と声をかけあっていたが、その後は振り返っても見えない状態であった。</p> <p>本事故発生当時、船長及び同乗者の服装は、ウェットスーツで、救命胴衣を着用していた。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし あり</p> <p>死因は、溺死であった。</p> <p>本船は、大瀬崎南南西方沖を北進中、波を乗り越えて速度を落としたところ、船尾方からの追い波を受けた際、船体が急に右転して左舷側に傾斜し、船長及び同乗者が落水した可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、傾斜して転覆後、風浪の影響により北方へ流されたものと考えられる。</p> <p>同乗者が溺死した状況については、明らかにすることができなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、大瀬崎南南西方沖において北進中、船尾方からの追い波を受けた際、船体が急に右転して左舷側に傾斜したため、船長及び同乗者が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	